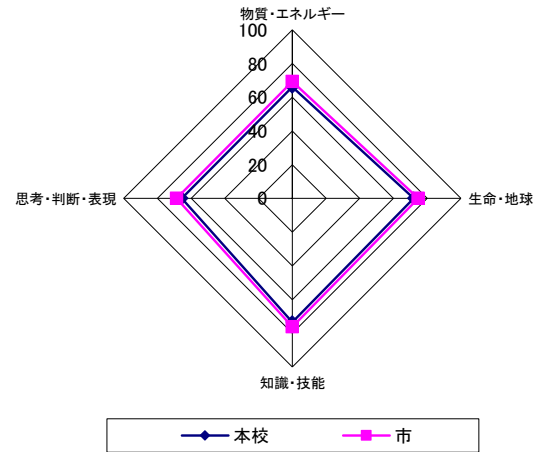


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.1	69.3	65.7
	生命・地球	72.0	74.7	77.8
観点別	知識・技能	73.4	76.2	76.4
	思考・判断・表現	65.6	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は66.1%で、市平均より3.2ポイント低い。</p> <p>○「電流のはたらき」の単元では、市の平均を2.8ポイント上回った。</p> <p>●「物の燃え方」における実験時での注意事項に関する設問及び比較する実験を選択する設問において市の平均を大きく下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察などの体験活動を重視した学習の展開を意識し、さらに自ら計画を立てたり比較したりする活動を行うことで、実験を行う意味や目的に目を向けられるようにしていく。 ・基本的な実験の技能に関しては、学習中の確実な習得を図るため、器具の操作をする時間を全員確保する。実験技能の定着を確認するパフォーマンス評価なども随時行っていく。
生命・地球	<p>平均正答率は72.0%で、市平均より2.7ポイント低い。</p> <p>●「動物のからだのつくりとはたらき」における呼吸による成分の変化に関する設問では市の正答率を大きく下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物質・エネルギー領域と同様、対照実験を行う理由やその条件などを考える活動を行うことで、結果を検証する手立てをしっかりと実践することを通して、さらに学びが深まるようになっていきたい。 ・天気の変化や動物の体のつくりとはたらきなど生活に密接した身近な内容が多いことから、新聞やニュース、自分の経験など授業に取り入れ、児童の興味関心を引き出すような授業展開を行う。